

東京歯科大学同窓会会報 第364号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
東京歯科大学 創立120周年記念事業	2～3
お知らせ	4
同窓会主催全国ゴルフ大会	5～6
学 術	7
理事会のうごき	8～10
渉 外	10
母校だより	11～17
支部のうごき	18～24
ふるさと自慢	25
クラス会だより	26～27
追悼・庶務日誌	28
逝去会員	29
へんしゅうこうき	30

(表紙 野村 淳)

セピア色の写真館 ～思い出の一枚～



道志村合宿 1970年



少林寺拳法部

歯科大学、歯学部においては、講義、実習にと忙しい毎日であるのは、時代が進んでも変わりはないようである。いや、状況は、さらに厳しくなっていると聞く。だが、そんな忙しい中での部活動は、学生生活をより充実したものにするには欠かせないのも、昔も今も変わらないだろう。

私は受験時代の運動不足を挽回するが如く少林寺拳法の練習に熱中したが、それは厳しくも楽しいものであった。歯学体を控えて猛練習の夏合宿は中でも思い出深い。入部後最初の合宿地は昭和45年7月、山梨県の道志村であった。電車、バスを乗り継ぎ、最後は徒歩で山道を行き、畑を過ぎ、合宿をする民宿へ着いたのは、もう夕暮れだった。本当に何



もない山の中のごく普通の農家が宿泊先であった。近くの小学校の講堂での練習はきつかったが、合間の休憩日にはすぐ下を流れる溪流で水遊び。合宿最後の打ち上げは、まだカラオケなどない時代ではあったが、手拍子で大盛り上がりであった。春合宿は、大会をひかえているわけではないので、比較的気楽ではあった。例年3月に、伊豆下田の田牛(とうじ)へ出かけた(写真上)。ここ

もバスが一日数便、車がすれ違えない細道の果てる先にある不便な地ではあったが、現役の漁師が経営する民宿では、毎日、鯛やアワビの刺身が食卓にならび、今思えば何と贅沢であったことか。

少林寺拳法部はブルース・リーが全盛の頃の合宿地では近所の子供が見に来るほどの人気だった。部員も昭和45年の頃は30人以上もいたが、時代の流れか、一時廃部の危機にたたされる時もあった。最近は現役部員の踏ん張りでも盛り返ってきている。(写真下、2006年12月6日少林寺拳法部創立40周年現役部員)この中には私の息子の他にも2世部員が数人いて頑張っている。

取り出した昔の写真は色褪せても、そこにこめられた青春の思い出はますます輝きを増してくる様に私には思われる。厳しい状況の中頑張っている現役部員にも、大いに学生生活を楽しみ、青春を謳歌して欲しいと願う次第である。

(昭和51年卒・東郷幹夫 記)



理解と協調



同窓会会長

大 山 萬 夫

新執行部発足以来早や5ヵ月が経過致しました。その間、同窓の皆様より温かいご助言、ご指示、励ましのおことばを賜り厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして、理事・委員一同頑張っております。

さてこの度、大学当局より理事長井上 裕先生・学長金子 譲先生より東京歯科大学創立120周年記念事業の主体ともなる大学移転について本号にお書き頂きました。ご一読頂き本事業に対するご理解を一層深めて頂きたく存じます。

井上理事長の本計画の基本理念は「大学機能の更なる充実・将来に向けた人材育成」に集約されると言われております。更にその中で、都心大学の優位性について言及されておられます。現に他の一般大学においては5～6年前より都心回帰について活動されておられる様で

す。受験生の目が都心に向いて来ているとの事でありま
す。歯科大学受験生においても同様の現象が有り、大学
としては優秀な受験生の確保が困難となって来ている事
は将来展望としては大きなマイナス問題であります。平
成20年3月の国試合格においても、我が校は良好な実績
を得ましたが、この面も含めてよい教育体制を今後共維
持する事が、名実共に栄光と言えると存じます。他方現
施設関係において維持・保守関係費の膨大なる支出が問
題になって来ており、今後を見据え、都心キャンパスの
優位性・効果等を検討した結果、都心回帰の方針を決定
したとの事であります。理事長の幅広い人脈・多くの情
報からのご決断でありましょう。法人理事会・評議員会
の賛同を得られた事ご同慶の至りでございます。

金子学長よりは、「東京歯科大学の新たな旅立ち」と
してマスタープラン6項目について詳細に解説されてお
られます。特に千葉キャンパスの一斉移転、約28,500
坪の売却、また三崎町二丁目所有地に大学施設ビル、そ
の中に新血脇記念ホール（多目的ホール・コンサート会
場を含む）の移築、更にさる学校法人との共同開発によ
る校舎確保等の計画について示され、これ等の要因は
「東京歯科大学の将来目標を実現するためである」とご
解説されました。

理事長・学長それぞれのお立場から見識有るご決断で
あります。將に時代のながれの激しさ厳しさを実感致す
と共に、このプロジェクトの成功を同窓会は総力を挙げ
てご支援しなければならぬと、肝に銘じるものであり
ます。同窓会と致しましては、この様なときこそ微力な
がらも物心両面からご支援させて頂きお役に立ちたいと
願っております。過去には、特筆すべきものとして、昭
和30年大学院設立資金をはじめ昭和45～52年には大学施
設整備資金、平成2年には大学創立100周年記念行事助
成金また平成12年には大学 HRC 及び日本歯科医学会総
会援助金等がございます。

今度の事業は120年の輝かしい歯学の雄としての誇
り、また社会に対する重い責任を背負っております。
我々同窓会会員は理解と協調をもって本事業の推進達成
にご支援しなければなりません。

皆々様の一層のご協力をお願い申し上げます。
尚120周年記念祝典・水道橋移転関係の情報につきまし
ては、本同窓会報を通して逐次お知らせ致します。

東京歯科大学 創立120周年記念事業

—新しい時代に対応する東京歯科大学の将来を描き、
更なる発展を目指して—

理事長 井上 裕



同窓会会員の先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本法人の管理・運営に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

同窓会報第356号でご案内のとおり、本学は、平成22年に創立120周年を迎えることとなります。本学はこれまで、同窓の先生方のご協力も頂戴し、創立90周年、100周年と歴史の節目において記念事業を実施してまいりました。昭和55年の創立90周年では、千葉への大学移転という重要な事業を実施し、翌56年に千葉校舎が完成いたしました。平成2年の創立100周年では、記念式典に天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、約3,000人の参加者の下、式典・祝賀会が挙行され、水道橋校舎（TDCビル）の竣工、市川総合病院の新築、御殿町グラウンドの完成、血脇先生の顕彰、記念誌編纂等々、多くの事業を展開いたしました。

創立120周年に向けては、平成18年7月に記念事業準備委員会を発足させ、各記念事業の実施について検討を進めております。今般の水道橋移転計画については、同年11月に理事会において承認を受け、「教育施設に関する将来検討委員会」を設置し、記念事業の一環として位置付け、千葉校舎、水道橋校舎の将来構想を検討してまいりました。同委員会は、1年余にわたり検討を重ね、本学建学の地である水道橋への回帰を創立120周年記念の一大事業として実施することの結論を得、理事会、評議員会へ答申していくことを決定いたしました。

本学は、昭和56年に千葉市へ校舎を移転後、26年余の年月が経過し、大変広大な恵まれた環境の中で学生教育が進められてきました。また、この間、地域住民の方々や歯科医師会、医療機関の先生方との良好な関係を築き、深い連携に支えられ、多くの優秀な歯科医師を輩出して参りました。では何故、千葉校舎を縮小し、大学機能の拠点を水道橋へ移すのか。本計画の基本理念は、「大学機能の更なる充実」、「将来に向けた人材育成」に集約され、本学の将来的な発展のため必須条件であり、実現するための移転計画であると考えております。

現在、歯科界、歯科大学が置かれている環境は大変厳しい状況であると言わざるを得ません。

歯科医師需給問題では、平成18年8月には、「医師及び歯科医師の定員に関する関係大臣の合意」の確認書が公表され、歯科医師については、文部科学・厚生労働両

大臣により、入学者の抑制、歯科医師国家試験の合格基準の多様化等々、定員削減の方向が示されました。各歯科大学では、平成元年度より入学定員の2割削減を実施しており、国の政策として明確化されたことで、より一層、厳しい状況に置かれることになり、少子化や歯学部志望学生の減少によって受験生が減少する中、優秀な受験生の確保は益々困難となってきております。

また、文部科学省に代表される公的補助金の獲得には、大学間の競争と連携が今まで以上に重要視され、競争環境の整備、或いは連携体制の構築という観点から都心大学の優位性は明らかであります。一方学内においては、千葉校舎の建物・設備等を調査したところ、26年間の年月による経年劣化が顕著に現れ、大規模キャンパスであるが故に今後数年間に係る修繕・更新等の費用は膨大なものとなります。本計画の実施には莫大な財務的負担がかかります。しかしながら、キャンパスの集約化によるコスト縮減、大学の本部機能の集中、都心キャンパスの優位性、効果等々を踏まえ比較検討した結果、それを補うことができるものと考えております。これらに加えて、学校教育法の改正や大学設置基準の緩和、設置認可制度の弾力化等々、都市部への移転を容易にする法改正が近年行われてきたことも水道橋への回帰を可能にする大きな要因となっております。

創立120周年を迎えるこの時に本法人として将来に向けたランドデザインを模索し、施設空間、資金、学内外の意向、関係省庁の見解等々、多方面から検討・検証を行って参りました。20年後、30年後の大学の将来を見据えた場合、建学の地である水道橋に大学の機能を移転することは妥当な判断と考え、現在の状況下において実施は時宜を得たものであるとの結論に至り、本年3月に開催の本法人理事会、並びに評議員会に上程いたしました。席上、各先生方からご意見を頂戴し、採決の結果、具体的事項については、社会・経済情勢等が影響することから、今後更に精査、検討を行うこととし、水道橋移転については本法人寄附行為上の議決に要する賛同を得、計画実施の承認を得たものであります。

創立から120年に亘る歴史の中において、非常に重要な大きな決断ではありますが、先生方におかれましては、水道橋移転計画の趣旨とその意義をご理解の上、ご賛同を頂ければ大変幸甚に存じます。

—東京歯科大学の新たな旅立ち—

学長 金子 讓



今般、本学同窓会より、水道橋移転計画についてご案内を行う機会を頂戴し大変有難く存じます。

本計画については、平成18年11月28日開催の創立120周年記念事業準備委員会、並びに同日開催の第640回理事会において、記念事業の一環として「教育施設に関する将来検討委員会」が設置され、その後、千葉、水道橋校舎の将来構想について検討を重ねて参りました。本計画については、本学の将来を勘案した上で重要かつ必要なことであり、教授会においても、理事会からの諮問を受け、平成20年3月11日開催の第538回全体教授会にて意見の聴取を行い、移転実施について賛同を受け、3月21日開催の第648回理事会において答申をいたしました。

本計画の基本理念については、井上 裕理事長より述べられた通りですので、私からは、基本構想（マスタープラン）についてご説明申し上げたいと思います。なお、本構想は移転計画策定、計画内容の評価（収支の検討）、法令適用の面から、その実現性を検討するための前提条件として想定したものであり、法令の改正や経済動向の推移等、諸状況の変化に伴い、検討・実施を進める過程において計画内容の変更もありますことを事前に申し添えます。

基本構想は大きく六つの項目に分けられます。①大学の全てを水道橋へ一斉に移転。移転する場合の選択肢としては一斉に移転を行うか、段階的に移転を行うかのいずれかとなりますが、教育、研究、診療面や財務・法務の面から比較検討し、検証した結果、一斉に移転を行うことが望ましいという結論に達しました。②現在の千葉校舎には、規模を縮小し、診療機能を充実させた千葉診療所（仮）を設置、その用地分を残し、約28,500坪を売却します。大学機能を一斉に移転することから、学生や臨床研修歯科医の教育を行う場である現在の千葉病院の機能については、大幅な見直しが必要となります。現在千葉病院は千葉県歯科医師会及び郡市歯科医師会との間で地域の歯科医療を担う医療連携ネットワークを構成しておりますので、その機能を十分に果たせる規模の医療機関を残すことを考えております。③TDCビルを大学本体、病院として使用。現在も法人事務局及び水道橋病院として使用しているTDCビルは、6階以上のフロアを学校法人の収益事業としてテナントに賃貸しております。移転後は水道橋病院にて学部学生、大学院学生、臨床研修歯科医の教育を主に実施することとなりますので、その規模、及び機能の拡張が必要となります。④三崎町二丁目リパーク駐車場跡地（本学所有）を校地に変

更。私が法人主事を務めておりました平成13年に、TDCビルから神保町方面に約70メートルの場所に大学の将来構想を想定し、取得した土地があります。現在はリパーク駐車場として収益事業に使用しておりますが、この土地に新しいビルを建築し、大学施設として利用する予定であります。この建物には、血脇記念ホールを改築し、コンサート会場としても使用可能な多目的ホールの建設も考えております。⑤学校法人昭和一高学園との共同開発による校地確保。同校は文京区本郷一丁目に所在し、昭和4年創立の普通科、商業科を有する男女共学校であります。今年創立80周年を迎え、その記念事業の一環として同校校地に共同開発で校舎を建設するパートナーを募集しておりましたところ、本学と順天堂大学がその候補として名乗りを上げ、細部にわたる諸条件を含め、交渉の結果、本学が第一交渉権を得る運びとなったものであります。現在、未契約ではあります（5月13日現在）、校舎建設後は、土地・建物を双方で共同所有する計画となっております。⑥グラウンドは旧市川病院跡地に設置。大学設置基準では、校舎から約1時間以内の場所にグラウンドを設置することが規定されており、同地を新しいグラウンドの第一候補として考えております。

大学が水道橋移転を決断するに至る大きな要因は、「東京歯科大学の将来」を実現するためであります。移転計画の実施は、変化する様々な社会情勢への対処、将来的な経営に対する危機管理が必要とされる現在の本学において、時宜を得たものであり、将来構想実現の一つの大きな契機であると考えております。なお、水道橋移転計画の総合的な設計は、株式会社 日本設計に委託をすることが3月開催の理事会、評議員会で承認されました。同社の選定理由としては、昨年、千葉・水道橋両校舎の施設・設備に関する中長期の保全計画を策定する際、競争入札により発注先として決定された会社であり、本学での実績、サービス面、依頼業務への対応、校舎の施設・設備を充分把握している点を考慮し、同種業界においても上位の実績を有していることから業務委託先として、決定するに至りました。

今後、様々な視点から検証、検討された実施計画の進捗状況については、随時、同窓会会員の先生方にお伝えしていきたいと考えております。

本学の新しい旅立ち、更なる前進を願い、教職員一丸となって本計画の成功に向け邁進する所存でありますので、同窓の先生方におかれましては、何卒深いご理解と旧に倍するご支援を頂戴致したくお願いする次第でございます。

お知らせ

理事会より

- 「変革と発展」を目指した同窓会事業を一步一步進めます
大山執行部が出航してから、早くも半年近くが経とうとしております。
止まりかけた同窓会事業を立て直すためにはまだまだ時間が必要です。同窓会執行部は、「変革と発展」を基本姿勢とし、会員個々の目線に立った透明性の高い同窓会事業の執行を目指していきます。

同窓会事業・行事

- 第36回全国ゴルフ大会
と き 平成20年9月4日(木)
ところ 埼玉県・霞ヶ関カンツリー倶楽部
詳細ならびに申込み書は 頁～ 頁に掲載
- 平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会
と き 平成20年11月22日(土)
ところ ホテルメトロポリタン エドモンド
(千代田区飯田橋3-10-8)
- TDC 卒後研修セミナー2008プログラム
実技セミナー
No.4 新素材, 歯冠修復の新たな潮流
～メタルフリー修復の実際とその基本手技～ 7月6日(日)
No.5 導入しよう! インプラント治療
9月6日(土)・7日(日)
ベーシックセミナー
No.6 パーシャルデンチャーをもう一度学ぼう ～設計の秘訣～
10月26日(日)
- 卒研フォーラム
No.7 患者さんの健康を支援する
～歯科医師のできる事 歯科衛生士
にできること～ 11月9日(日)
問い合わせ先: 東京歯科大学同窓会学術部
Tel. 03-5275-1761

地域支部連合・支部関係

- 地域支部連合会会長の交替
平成20年1月1日付
信越地域支部連合会 清水 潮氏(36卒)
前連合会長 水橋 巖氏(43卒)
- 支部長交替
平成20年4月1日付
札幌支部 麻生 博氏(48卒)
前支部長 松岡 敬志氏(46卒)
- 旭川支部 洪川 義和氏(44卒)
前支部長 佐藤 邦典氏(41卒)
平成20年4月12日付
空知支部 原岡 研二氏(48卒)
前支部長 柳 清二氏(38卒)
平成20年4月19日付
宮城県支部 小野 喬氏(45卒)
前支部長 田島 守氏(44卒)

母校関係行事・案内

- 平成20年度東京歯科大学学会
第286回 総会 平成20年10月18・19日(土, 日)
演題締切 8月26日(火)

第36回同窓会主催全国ゴルフ大会

ご 挨拶

同窓会会長・大会会長 大 山 萬 夫
大会実行委員長 酒 井 雄 学

紫陽花の美しい季節となりました。会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は諸般の事情により、ゴルフ大会は自粛いたしました。本年は皆様からのご要望もあり、協議の結果再開いたすこととなりました。

あらためて第36回同窓会主催全国ゴルフ大会の開催のご案内をいたします。

開催コースは名門霞ヶ関カンツリー倶楽部に決定いたしました。

“かすみ”と愛称される、昭和4年開場の日本を代表する名門ゴルフ場で、赤星・井上・アリソン各設計家が名をつらねる、老松によるセパレート的林間コースです。

極めて戦略的頭脳プレーを要求される設計で、アリソンバンカーが有名です。この名門コースで、全国各地よりご参加いただき、同期生同士また先輩後輩との組み合わせで、明るく楽しい交流の場となっております本大会に、今年も是非ご参加下さい。

今年も大学側より、理事長杯、学長杯、病院長杯をご寄贈いただきましたので、御礼申し上げます。またその他多数の賞品を用意いたしております。多数の方々のご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、ゴルフ委員会また開催コースメンバーの同窓会員の先生ならびに大学当局関係各位に厚く御礼申し上げます。



西コース 6番
(ブライアン・モーガン撮影)



西コース 16番
(ブライアン・モーガン撮影)

キ ー リ ー ト ー リ ー 線

第36回 同窓会主催全国ゴルフ大会申込書

所属支部名 _____ 氏 名 _____ 卒業年度 _____

住 所 〒 _____ TEL (_____) _____

生年月日 _____
(ハンディキャップ (プライベートでも可) _____)

参加費7,000円を添えて申し込みます。

第36回同窓会主催全国ゴルフ大会ご案内

第36回ゴルフ大会は、埼玉県霞ヶ関カンツリー倶楽部西コースにて開催いたします。

当コースは昭和4年開場の日本を代表する名門コースで、数々のビッグトーナメントの舞台として有名です。今回の西コースは平成18年日本オープンの舞台となりました。

会員各位には奮ってご参加をお願いいたくご案内申し上げます。

開催日時 平成20年9月4日(木)

会場 霞ヶ関カンツリー倶楽部
〒350-1175 埼玉県川越市笠幡3398
TEL 049-231-2181
FAX 049-231-4528

交通 車利用 関越自動車道(圏央道)
圏央鶴ヶ島インター約5km, 約8分
電車利用 西武新宿線・狭山駅下車
クラブバス約15分

競技方法 18ホールストロークプレイ
(ダブルペリア方式)

参加費 7000円(含パーティー費, 賞品代)
その他は個人払いとします。

参加人数 180名(先着申込順)

申込期日 平成20年7月1日～7月14日(必着)

申込先 東京歯科大学同窓会ゴルフ大会係宛
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18
TEL 03-5275-1761

申込方法 下記の参加申込書に所定事項記入の上, 会費7000円を添えて, 現金書留封筒にてお送りく

ださい。クラス会単位, その他のコンペ同時開催等による一括申込の場合も, 申し込み時に必ず全員の参加申込書と会費をそえてください。なお, 電話での受付はいたしません。

追記 本大会についての詳細は大会実施要項として参加申込み手続き終了の方に直接お送りいたします。

その他ご質問お問い合わせ等は厚生部委員会ゴルフ大会委員にお願いいたします。

高宮紳一郎 TEL 03-3406-3677

◎宿泊 下記に各自お申し込みください。(霞ヶ関カンツリー倶楽部でプレーの方は宿泊割引があります。予約時にニアピンプランとお申し出下さい。)

・川越プリンスホテル
〒350-8501 川越市新富町1-22
TEL 049-227-1111
FAX 049-227-1126

交通事情をご考慮下さい。



西コース 18番
(ブライアン・モーガン撮影)

キーリトリー線

通信欄

卒研リポート2008

『徹底的に SRP』

～歯周専門医から学ぶグレーシー・キュレット～

TDC 研修セミナー2008は「患者さんの健康を考える一日常臨床のスキルアップ」をメインテーマとして始まりました。第1回は、4月20日に血脇ホールにて53名（内同窓生27名）の受講者が参加して開催されました。



最初に開講式が行われ、宮地建夫学術担当理事に続き大山萬夫会長のご挨拶があり、SRPは「8020」に非常に重要な手段であると述べられました。

講義では、まず慶応義塾大学歯科口腔外科の中川種昭教授がSRPの基礎について話されました。歯周病はバイオフィーム感染症であり、喫煙・糖尿病・肥満が大きなりスクファクターとなります。また、基本的にはTBIがきちんとできていることがSRP開始の条件ですが、日常臨床ではある程度同時に進行させます。プラーク・歯石は確実に除去し、根面は可及的に滑沢にすることが目標です。このとき歯根の解剖学的な複雑さをどのように把握するかが重要となります。そのためにはレントゲンの読像や、スケーラーやプローブによるポケットの触診を含めた根面を採知するテクニックを身につけることが不可欠です。6mm

以上のポケットの場合の歯石除去率は専門医の81%に対し研修医は34%に過ぎません。SRPのテクニックもさることながら、根面の形態と、歯石や病的セメント質の付着状況をいかに的確に把握することがこの差を生んでいます。ポケット内の病変部の面積は手のひらの大きさに匹敵し、全身に影響を及ぼしています。したがって、SRPを行う前後には必ずポケット内の薬液洗浄を行なう必要があります。

きちんとSRPができると上皮付着がおこるが、さらに歯槽骨が再生してくるとの報告もあります。これはSRPの有効性を裏付けています。

次に東京歯科大学歯科衛生士専門学校教務主任の白鳥たかみ先生がSRPの手技について講演されました。

参加されていた日常臨床で実際にSRPを行う衛生士さん達に特に理解しやすい様に歯根の形状から歯石の確認、ポジショニング・把持・操作の方法、シャープニングの注意点、オーバーインスツルメンテーションの影響について実践的にお話をされました。特にシャープニングはSRPの成否に直接関与するので丁寧に行うことが肝心です。また、



オーバーインスツルメンテーションは、術後のエンドトキシンの再浸透、象牙質知覚過敏、再付着の妨げ等の悪影響があります。

ここでマネキンを使用した実習に移りました。実習用模型は歯根面に人口歯石が付着しており、さらに模型に合致した14枚法のデンタル写真までそろっており、非常に臨床に近い条件で実習が行われました。手用スケーラーを一生懸命動かしていると、指がつりそうになり、根気のいる処置だと改めて実感しました。

最後に山田 了東歯大教授が「目指せ！専門医&認定歯科衛生士」として現在と将来の歯周治療体系について解説され、社会から望まれる医療人を目指すようお話しされました。

(取材・広報部 小池 修)



理事会のうごき

第2回理事会

平成20年3月15日（土）午後2時30分

於 特別会議室

出席 32名 来賓 金子学長

議長 服部副会長

会長挨拶

次の事項について挨拶。

- ・新役員体制になって、順調に会務が進行していること
- ・一連の事件に対する本部同窓会の見解について
- ・母校創立120周年記念事業の詳細をお聞きするために来賓として学長のご出席を仰いだこと

学長挨拶

本学創立120周年記念事業に係る考え方、並びに現在の状況について資料を配布して説明された。

（内容についてはP3「東京歯科大学 創立120周年記念事業」欄記載）

人事報告

事務長 狩野彦三郎氏 平成20年3月31日付退職
事務員 松本 妙子氏 平成20年3月31日付退職
後任事務長・梅津道生氏の履歴書を配付し紹介。

黙 禱

平成20年2月12日から平成20年3月12日までに逝去の連絡があった12名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

報告と承認

(1) 平成20年2月14日から平成20年12月までの日程を報告。

各部報告

(1) 総務部

- ① 連合会会長交代を報告。
- ② 支部・地域支部連合会等学術講演会講師派遣交通費の支出について報告。
山形県支部総会時学術講演会（3月9日）
金子 讓教授（母校）
信越地域支部連合会総会時学術講演会（6月21日）
花岡洋一准教授（母校）
- ③ 血協記念ホール等使用料について
本年度の使用料について報告。なお、次年度以降については相談。
- ④ 日本大学歯学部同窓会事務局が4月1日付で移転する旨報告。

(2) 学術部

- ① 学術部委員会会議記録を配付、新委員、委員会人事を報告。
- ② 第23回全国歯科大学同窓会・校友会学術連絡会の開催について資料を配付し説明。
- ③ 3月24日（月）開催予定の新入会員オリエンテーションでの説明内容を報告。TDC 卒後研修セミナー2008の開校式を4月20日（日）に血協記念ホールで開催予定。

(3) 広報部

- ① 3月11日（火）広報部委員会を開催。委員会では会報の中で理事会欄が余り使われていないという意見があり、理事会便りの議事録とは別にして、理事会の考え方等を記事にしてほしい旨報告。

(4) 厚生部

- ① 逝去会員について
平成20年度逝去会員は3月13日（木）現在で累計30名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。
- ② 第1回厚生部委員会報告について
保険法改正に伴う共済制度については、本日の理事会協議事項で審議する。
東京歯科大学同窓会急病時歯科医師委嘱制度の案については再度検討することとなった旨報告。

(5) 保険部

- ① 第1回保険部委員会を2月29日（金）に開催。（大山会長・服部副会長・中島総務出席）
診療報酬の改定が4月に行われるのに伴い、関連記事をホームページ、会報に記載掲載の予定と報告。本年は10月頃に保険診療手引きとして小冊子を発行の予定。
- ② 社会保険指導者研修会後の情報交換会（昨年未開催）を今年は開催する方向で検討したく、協力方を依頼。

(6) 情報部

- ① 資料を配付説明。第1回情報部委員会を2月16日（土）に開催。（関専務理事・江里口常任理事出席）

各地域選出理事報告

(1) 戸田理事（北海道）

- ① 北海道地域支部連合会総会を札幌支部主催で、8月23日（土）開催予定。同窓会側から大山会長・柳副会長、大学側から金子学長が出席予定である旨報告。

- (2) 井原理事（関東）
- ① 関東地域支部連合会総会（栃木県主幹）を9月6日（土）午後1時から宇都宮グランドホテルで開催予定である旨報告。
- (3) 高橋理事（東京）
- ① 東京地域支部連合会では今回の不祥事についての総括について、議論がなされた。その関連で、東京都歯科医師会の代議員会においては、戒告処分、執行期間中の代議員および予備代議員の停止、並びに全ての公的な活動の自粛を決定した。これに対して田中会長は大変厳しい処分である旨を発言。その後、理事会、支部長会を開催しこの件について協議した結果、会員一人一人に案内を出す方向である旨報告。
- ② 支部に属さない本部直属会員（東京では会費未納会員が多数いるのでは？）について、会則では会費の支払いは、支部を通さなければならないとなっているが、本部の考え方、現状についての報告を要請。
*本部は当日、地区別・支部別会員数の資料を配布した。
- (4) 片桐理事（信越）
- ① 信越地域支部連合会総会が6月21日（土）に開催予定である旨報告。（片倉副会長・関専務理事出席予定）
- (5) 宮本理事（北陸）
- ① 北陸地域支部連合会としては特にないが、富山県単独として微生物学教室の奥田教授が3月で退任されることに伴い、5月頃に講演会を計画する旨報告。
- (6) 久保田理事（四国）
- ① 四国地域支部連合会総会が5月10日（土）に開催予定である旨報告。（江崎副会長出席予定）
- ② 愛媛県で広報誌を発行した旨報告し、出席者に回覧。
- (7) 濱田理事（九州）
- ① 宮崎県支部の支部長が交代した旨報告。
- ② 宮崎県内の会員のネットワークの構築が完了。これに伴い、6月21日（土）の九州各県の支部長会議において、他県にも要請し、九州一円のネットワークを構築したい旨報告。この結果、理事会の様子を各支部にフィードバック、各支部から上がってきたものを他県にフィードバックする等活用したい旨付言。（関専務理事）次回より大学の現況等を報告していただくことにしたい旨発言。了承。
- 協議事項**
- (1) 同窓会会費および共済負担金納入延期願いについて
2件申請があり承認。
- (2) 共済負担金納入免除願いについて
遡及免除申請が1件あり承認。
- (3) 推薦会員入会願いについて
2名の入会を承認。
- (4) 平成21年度同窓会評議員会の日程・場所について報告。
- (5) 「厚生部委員会ゴルフ大会委員会」の名称変更について
従前の厚生部委員会ゴルフ部会の名称を標記に変更することで、了承。
- (6) 母校創立120周年記念事業への協力について
同窓会としてどの様に受け止め、どの様な協力が出るかを語りたい旨発言。また、会長より委員を選出して検討することとしたい旨付言。継続審議とすることを了承。同窓会としては協力体制について何も決まっていないと言う事で統一する旨了承。
- (7) 旅費・交通費規程について
平成14年第1回の理事会（H14.4.19）において制定された東京歯科大学同窓会役員並びに職員旅費規程を配付。今回の提案は経費節約を主に見直しをしたい旨発言。次回の理事会までに案を出すことを了承。
- (8) 会則検討委員会の設置について
会則検討委員会を設置したい旨発言。委員会を設置し、委員任命については会長一任とすることを了承。
- (9) 平成21年度以降の学術事業の見直しについて（学術）
標記の件について、種々説明の後、理事会の立場からアドバイスを頂きたい旨発言。予め協議題と提案理由を提出していただきたい旨発言があり、了承された。
- (10) 個人情報保護法への対応について（広報）
※(株)日本保険マネジメント青野社長、新川氏、(株)東京海上日動火災 寺内氏着席
三友広報担当常任理事より個人情報保護法について調べた結果を説明。
総務が統括して行われるべきものと思われるが、協議をしていただきたい旨発言。
保険会社からの説明を受けた後、現状維持を継続（社会情勢をみながら検討する）する旨了承。また、この件の対応は、総務が主体になりその都度必要に応じた対応をしていくこととする旨を補足。
- (11) 平成21年同窓会名簿の作成について（広報）
個人情報保護法の対応に準じて、名簿の意義について会員に理解を求める努力をすることと、作成に係る実務の流れについて総務を中心に検討することで了承。
- (12) 同窓会共済事業について（厚生）
第1回厚生部委員会議事録より保険法改正に伴う共済制度を維持していくために説明。神谷厚生担当副会長から理事会で決めるのが妥当である旨発言。その時に出来る対応をするということで、保険業法改定に

- 対する行動を新たに起こさないこと了承。
- (13) 事務局の PC への対応について (総務)
早急に PC の新規購入の必要があることと、利便性の問題からサーバーのメンテナンス業者を変更したい旨説明。総務一任を了承。
- (14) 理事会・各部委員会の議事録等の HP 掲載について (情報)
理事会および各部委員会の議事録等をホームページに掲載したい旨説明。フォーマットを作成することを了承。
- (15) 大学 HP とのリンクについて
同窓会のリンクボタンをトップにする予定である旨案内。
- (16) 各部委員会委員名簿 (案) について
情報部に依頼し、各部の委員会の委員長、副委員長

等をチェックし掲載することを了承。

そ の 他

- (1) 「歯学部における入学定員削減状況」・「研修歯科医の在籍状況」について
資料を提示して各大学における標記について説明。
- (2) 学校法人 (法人事務局) からの賃料について
同窓会本部事務所の賃料、血脇記念ホール等の賃料について、学校法人東京歯科大学から利益供与となる旨新日本監査法人から指摘を受けている。よって、新年度は予算計上していただきたい旨要望。
- (3) 不祥事を起こした 3 会員の対処の仕方
同窓会本部としての対応は三役会に原案の作成を一任する旨了承。
- (4) 役員便覧を作る方向で計画。なお、ホームページに掲載するか否かは、会長一任を了承。

渉 外

東歯関係日歯役員・代議員、都道府県歯会長と 同窓会役員との懇談会

本年の懇談会は 3 月 12 日 (水) に、飯田橋のホテルメトロポリタン エドモント 3F 千鳥の間にて午後 6 時 30 分より開催されました。

関 泰忠専務理事 (昭 42 年卒) の司会進行で、日歯代議員会を控えご多忙の中、ご来賓としてお越しいただいた大久保満男日歯会長よりご挨拶をいただきました。4 月 1 日よりの保険点数改正に至る経緯についてご説明があり、「点数改正にあたっては連日のぎりぎりの折衝が続き、やっとプラス 0.42% というものを得た。この数値についての評価は 2, 3 カ月経ってみないと明らかではないが、この 2 年間で歯科界が失った金額は 1400 億円、今回の改正では年に換算しておよそ 100 億円のプラスで、2 年間のマイナス分を取り戻すのに 14 年かかる計算となる。年 2200 億円の社会保障費削減

の決定自体を変えないかぎり、今のままではこれが限界だ。次回改定は新しい執行部になるが今からそれに向かって戦略を考えなくてはならない。」とのお話がありました。

続いて大山萬夫会長 (昭 25 年卒) の挨拶があり、金子学長 (昭 39 年卒) よりのご挨拶、「今年の国家試験合格率は全体で 70% を切る予想である。また、入試の受験者数は歯学部全体で昨年より 20% 少なくなった。本学は 10% 減である。少子化の中今後もこの傾向は続くものと考えなければいけないだろう。なお 2010 年の創立 120 周年記念事業へのご協力をお願いします。」と続きました。

次に本日の出席者 35 名の紹介があり、座長に浅野薫之先生 (昭 40 年卒 千葉県選出日歯代議員 同窓会常任監事) を選出して懇談会を開催し、

第 160 回日歯代議員会の事前質問について協議いたしました。千葉県選出の村居正雄代議員 (昭 42 年卒) の「日歯 保健・医療政策ビジョン'07 問う」千葉選出の浅野薫之代議員の「指導・監査の改善について」の 2 題についての要旨発言に対して、それに関連する事項も含めて活発な質疑応答、意見交換がおこなわれました。

懇談会終了後懇親会が行われ、野上宏一厚生部担当常任理事 (昭 42 年卒) 司会の下、江崎梅太郎副会長 (昭 30 年卒) の開会の辞、川越文雄群馬県歯科医師会会長 (昭 31 年卒) の乾杯があり、皆うちとけて歓談され、最後に服部玄門副会長 (昭 33 年卒) が閉会の言葉を述べられお開きとなりました。

母校だより

母校の今

東京歯科大学 歯内療法学講座



東京歯科大学歯内療法学講座
教授 中川 寛一

講座の現状

歯内療法学講座は平成18年に歯科保存学第一講座から名称変更され、英文表記名も現在の診療・研究を表現するものとして“Department of Endodontics, Pulp and Periapical Biology”と改変されました。当講座は現在、教授1名、講師2名、助教6名、大学院生5名、レジデント4名、臨床専門専修科生1名、非常勤講師21名の40名が臨床・教育・研究に携わっています。いうまでもなく歯内療法処置は高度に専門化されており治療の可否がその後の治療経過、ひいては歯の寿命にも影響を与えると考えます。

教育では学部学生の教育を3年次に実施しています。座学は通年、基礎実習は後期に行われます。歯内療法処置の特殊性や専門性を理解するためにはより多くの天然歯にあたり、髓室開拓・根管形成・充填を経験することが望ましいのですが、昨今の天然歯不足はそれを充分に行うことを許しません。従ってレジン歯模型についても種々検討し、最近では有歯根型で根管長測定、根管充填が天然歯と同感覚で実施できる模型の開発と実習への供試を行っています。さらに本学の基礎実習において特徴的なものは確認に必要なX線写真にデジタルシステムを導入したこと、ニッケル・チタンファイルに

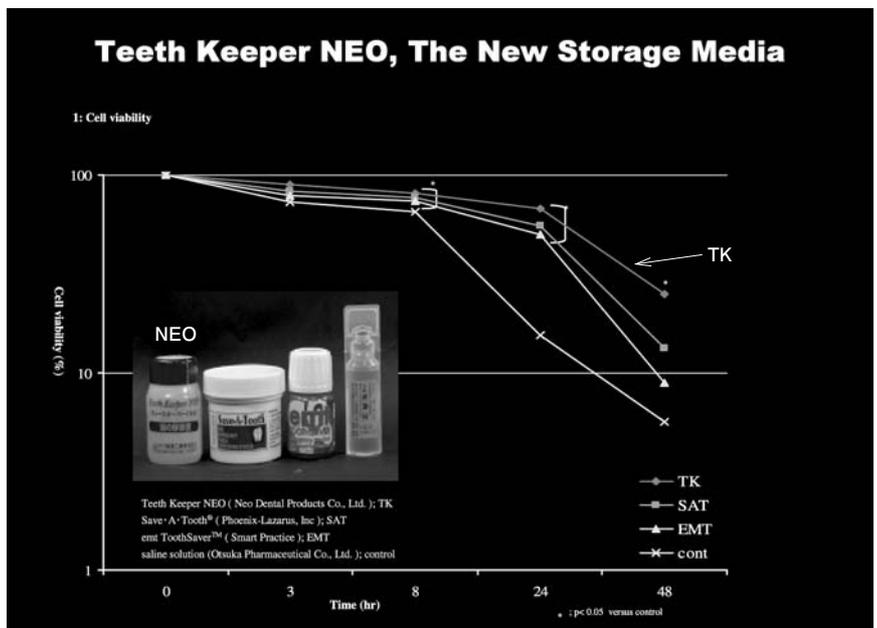
よる根管の回転切削・形成を取り入れていることです。これは他校には例がないことで基礎的な諸項目の修得とアドバンス的な技術のファーストエクスポージャーとして意義深いものと考えています。

登院後の特徴ある教育として手術用顕微鏡を用いた治療の見学があります。顕微鏡を用いた処置に触れることによって精密治療・MI治療の概念を理解することができるものと考えています。顕微鏡による治療のイントロとして日本歯科医学会の生涯研修ライブラリーを今春作成しましたのでご覧いただけると幸いです。また研究面において、長らくヒ

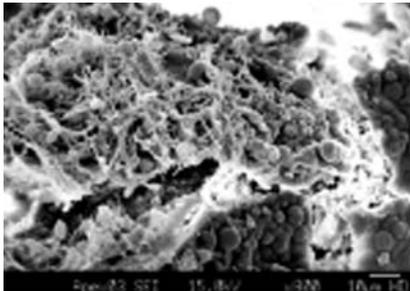
ト生活歯髓をベースにした臨床病理学的検討を実施し、歯内療法関連材料の評価を行ってききましたが最近では細胞レベル、分子生物学的レベルでの実験・研究が講座の方向性となっています。これらの研究は基礎講座の協力のもとにおこなわれており、解剖・病理・微生物・薬理・理工とその範囲も多岐にわたっています。

エンドドンティスト医員教育

治療用小機器およびガッタパーチャポイントの規格化など Standardized Endodontics の概念が治療に導入されて久しいのですが、対象となる根管系が変異に富み個人差も



当講座が研究・開発した歯の保存液と歯根膜細胞の保護効果



根尖孔外のバイオフィルム

大きいことから、とかく経験則に頼ることが多い歯内療法です。講座の医員には所属後大学院、後期研修のいずれにおいても設定されたカリキュラムに従って高度な技術と知識を修得すべく徹底したトレーニングが行われています。東京歯科大学千葉病院保存科－歯内療法学講座に紹介される患者さんの多くは痛み、偶発症、外科依頼など多岐にわたっています。千葉病院ではこうした専門教育に根ざした医員の育成をベースにエンドンティストとしての誇りを持って診療にあたっています。また日本歯内療法学会には専門医制度があり5年の修業年限をもって資格を得ることができます。さらに専門外ではありますが講座の基礎研究として長年行ってきたインプラント治療に対しても15年以上学会研修施設運用の任にあたっており多くの専門医を輩出しています。米国では専門医カリキュラムの中に取り入れている場合もあり、歯内療法処置のみならずインプラント処置の知識・技能の修得を目指す医員の研修の場を提供し続けています。

先進医療

昨年3月、厚生労働省の先進医療専門会議にて、当院が申請した「コーンビームCTと歯科用顕微鏡の併用による歯根端切除手術」が歯科初の先進医療として認められました。本法は、顕微鏡を用いることにより、従来の歯根端切除手術と比較



CBCTによる上顎第一大臼歯近心根の観察

し、より精密な手術が可能となります。具体的には、顕微鏡により、良好な視野を確保し処置領域の微細な組織構造を確認することができるため、従来の手術と比較して安全です。また、骨の削除も最小限で済むなど術後の回復も早く、患者さんへの侵襲も減ります。一方、コーンビームCTでの撮影は、一般的なCTと比べ「多面的（3次元的）な観察」「被曝量の減少」のメリットがあり、手術のより具体的な説明や計画ができるメリットを有しています。実際の手術には、学会専門医資格を有し知識ならびに技術を修得した医療スタッフが当たっています。



顕微鏡によるマイクロサージェリー

学会活動

日本歯科保存学会、日本歯内療法学会、日本顕微鏡歯科学会は直接的な関連学会です。特に日本顕微鏡歯科学会は、手術用顕微鏡を歯科臨床へ広く普及させることを目的に、平成16年12月に発足いたしました。顕微鏡歯科学会は学会発足時からの係わりで、現在中川が学会長をつとめています。また歯内療法学会は本年5月に第29回大会を大会長中川で千葉校舎にて開催し、盛会裡に終了したことは記憶に新しいことです。これらの学会では高度な専門知識と技術の修得を目的として各種の研修会が行われており、当講座もその任にあたりとともに、医員の育成に力をいれています。



日本歯内療法学会の運営にあたった医員と学生スタッフ

平成20年度 母校入学式



桜花爛漫春風香る4月5日(土)午後1時から千葉校舎講堂において平成20年度入学式が挙行された。大学関係者、父兄会及び同窓会役員、新入生父兄が多数臨席する中、管弦楽部在校生並びに同窓生の演奏、合唱部による校歌斉唱後、佐藤 亨学生部長の司会により開式された。一同起立して国歌を斉唱の後、小田 豊教務部長の呼名により新入生一人一人が起立一礼して128名、学士編入学者5名が紹介された。続いて金子讓学長が「皆さんは、生涯、歯科医療、歯科医学に身をおくのであれば、『知』の世界から生涯離れるわけにはいかない。医療を誠実にを行うためには『学ぶ』ことが必須である

と思う。いかにして学び、いかにして歯科医師としてより豊かな『自己を育成』するか、そしてその道筋を自分で獲得できるようにするための『行動』をいかに習慣化させるかということが、本学の教育目標である。医療・歯科医療は『科学技術学』であるとともに『人間学・社会学』であるので、皆さんはこれらの学問を学び、自身を研鑽してほしい。」と訓辞された。また、熱田俊之助学校法人常務理事は井上 裕理事長の祝辞を代読され「これからの6年間、学生としての節度を持ち、クラブ活動などをはじめ悔いのない青春を謳歌していただきたい。同じ歯科医師を目指す6年間、一生涯付き合える素晴らしい友人を持ち、友情を育んでほしい。」と祝辞を述べられた。

つぎに新入生代表の手島 秀君が「歯科学生の本分をつくし、本学学生の名に恥じぬよう勉学に励む。」旨の宣誓を行った。さらに新入生に



対して大学の徽章授与が行われ、金子学長から代表の金子純哉君の胸に授けられた。続いて出席者一同、校歌を斉唱し、入学式を終了した。

引き続き小田教務部長より、来賓並びに本学教授、教養系専任教員及び新入生を担当する修学指導関係教職員の紹介が行われた。



東京歯科大学千葉病院の今後の展望

大学の水道橋移転で千葉病院はどうなってしまうのかと心配する声が聞かれます。千葉病院では石井病院長名で配布している患者や歯科関係者に向けた声明文があります。それには「これからも地域に密着した医療をめざしていきたい」と「大学機能の水道橋移転計画」後も、千葉病院が新しい診療体制を

目指していくことを公表しています。

詳しくは同窓会ホームページ (<http://www.tdc-alumni.jp>) に石井病院長の「東京歯科大学千葉病院の今後の展望」－地域ニーズにあった先進機能を有した特色ある診療体制を目指して－が掲載されています。ご覧下さい。

平成20年度 東京歯科大学 入試ガイダンス日程

		開催日時	場 所	備 考
1	第1回	6月14日(土) 14時～16時	水道橋血協記念ホール	
2		7月6日(日) 11時～16時	名古屋：名古屋国際会議場	朝日新聞・大学通信
3		7月12日(土) 11時～17時	池袋：サンシャインシティ	朝日新聞・大学通信
4		7月20日(日) 11時～16時	大阪：大阪国際会議場	朝日新聞・大学通信
5		7月27日(日) 11時～16時	横浜：パシフィコ横浜	朝日新聞・大学通信
6	第2回	8月2日(土) 14時～16時	水道橋血協記念ホール	
7	第3回	8月23日(土) 10時～16時	千葉校舎	模擬授業、 体験実習(要予約)等
8		9月27日(土) 13時～16時30分	大阪：大阪城ホール	代ゼミ・玄文社
9		10月11日(土) 13時～16時30分	東京：新宿エルタワー	代ゼミ・玄文社
10	第4回	11月2日(日) 13時～16時	千葉校舎	模擬授業等 〔大学祭実施中〕
11	第5回	12月7日(日) 13時～15時	水道橋血協記念ホール	

※ 網掛けは、大学主催。

平成20年度新入生名簿

本 籍	氏 名	本 籍	氏 名
千葉県	青木 絵里香	山梨県	久保寺 理人
東京都	秋山 友理恵	沖繩県	黒潮 裕子
大阪府	明橋 冴	栃木県	黒田 祥太
新潟県	阿部 駿一郎	岡山県	小笹 弘貴
埼玉県	新井 敬	奈良県	小杉 彩歌
大分県	荒川 雅弘	福島県	小後 藤將
山梨県	新野 哲也	三重県	小林 峻
韓国	李 學瑩	東京都	小山 侑光
静岡県	飯嶋 和斗	愛知県	小近 藤光
千葉県	石井 友季子	千葉県	齋藤 宗昭
東京都	石井 亮太	北海道	坂田 杏奈
滋賀県	石田 祥之助	東京都	佐竹 正敬
東京都	石塚 友則	東京都	佐藤 有理子
千葉県	板倉 敏美	東京都	島津 有翔
東京都	岩脇 淳志	長野県	清水 水博
宮崎県	上窪 祐基	千葉県	清水 杉山
神奈川県	上原 秀一	静岡県	清杉 鈴木
東京都	宇野 瑤子	東京都	鈴鈴 鈴木
茨城県	大竹 智久	静岡県	角野 泰丈
茨城県	大津 雄人	大分県	角野 夢子
静岡県	大畑 菜々子	長崎県	泉 福隼
千葉県	岡野 千永	和歌山県	園村 裕己
滋賀県	岡野 日奈	和歌山県	田井 誠悟
静岡県	小川 雄大	秋田県	高津 雄介
大阪府	小倉 春佳	千葉県	高橋 篤史
福島県	小野 愛実	奈良県	高橋 史子
山形県	小幡 智子	東京都	高田 中
熊本県	影下 裕晃	千葉県	高田 中
茨城県	片野 貴壮	大分県	田中 宏資
東京都	金子 貴哉	東京都	田中 陳
神奈川県	金子 純哉	東京都	手島 秀
茨城県	金子 真帆	東京都	寺島 達秀
神奈川県	金井 康雅	東京都	寺本 拓央
千葉県	川上 和司	千葉県	遠山 早紀
大阪府	川口 哲裕	千葉県	富永 永雄
静岡県	川崎 貴東	熊本県	富永 倉
愛知県	姜 秀人	埼玉県	永中 島由
韓国	姜 秀人	東京都	中野 友
神奈川県	鍛木 友里	大分県	中野 友
東京都	木村 慎一	山梨県	中名 奈津
千葉県	木金 智英	千葉県	中名 奈津
韓国	金 志	埼玉県	梨野 末
大分県	金 志	岡山県	梨野 末
福岡県	草 場		

本 籍	氏 名	本 籍	氏 名
鹿児島県	橋 口 あやこ	大阪府	松 本 啓 嗣
愛知県	橋 本 圭 史	大阪府	水 谷 友 春
広島県	濱 田 真 衣	愛媛県	宮 崎 剛
千葉県	林 礼 乃	千葉県	宮 本 成 美
千葉県	林 卓 弥	東京都	三 好 礼
福岡県	原 田 賢 治	東京都	宗 像 花 楠子
愛知県	伴 野 雄 大	愛媛県	村 上 彩 花
千葉県	左 右	高知県	安 岡 はるか
神奈川県	平 林 侑里子	千葉県	山 倉 佑 太
長野県	廣 岡 優璃子	大阪府	山 下 由貴子
埼玉県	古 澤 春 佳	富山県	山 田 朗 寛
群馬県	星 野 立 樹	埼玉県	湯 本 亜 美
山梨県	細 川 裕 貴	岡山県	横 見 厚 則
長野県	本 郷 佐 和	山梨県	若 杉 寛
熊本県	本 田 有 正	千葉県	脇 谷 尚 宏
福島県	本 田 健太郎	長野県	和 田 朗
静岡県	松 島 薫	北海道	和 田 沙也加
山形県	松 田 二 葉	北海道	渡 邊 豪 士
神奈川県	松 田 祐 明	千葉県	渡 辺 恭 子
長野県	松 村 健二郎	東京都	和 智 宏太郎

平成20年度第2学年編入（5名）

第2学年編入

本 籍	氏 名	本 籍	氏 名
岡山県	池 田 麻 乃	台湾	蔡 涵 雅
鳥取県	石 田 結実香	台湾	林 士 凱
兵庫県	釜 谷 夏 紀		

※訂正とお詫び

会報「363号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P14 卒業論文賞受賞者名 正・石川 昂 誤・石川 昴

※訂正とお詫び

会報「363号」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P4 5行目副会長の職務分担 正・江崎（学術部） 誤・江崎（学術部・渉外部）
 正・服部（渉外部・保険部） 誤・服部（保険部）

同窓会員より資料等が大学へ寄贈

榊原悠紀田郎先生（昭和12年卒・蜂和会）より

平成20年1月、本学評議員の榊原悠紀田郎先生より、先生が研究のためにこれまで作成してこられた「歯科関係者個人資料ファイル」約70冊と、先生のエッセイを纏められたファイル並びに歯科関係図書約100冊を東京歯科大学図書館に寄贈していただきました。

先生からは、これまでも歯科医学史、歯科医学教育史、口腔衛生、

— 榊原悠紀田郎先生は平成20年6月10日ご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。 —

社会歯科などの歯科関係資料ファイル等の貴重資料約450冊をはじめ関連図書・雑誌等を多数寄贈していた



平成20年1月 ご自宅にて



榊原先生寄贈資料ファイル保存書架

飯田外茂男先生（昭和26年卒：いそむ会）より

東京都大田区に在住の飯田外茂男先生から、ご尊父の故飯田武雄先生（東京歯科医専、大正5年卒）が使用されていた実習ノート、本学卒業証書、歯科医師免許証、さらに実際に使用されていた診療機器、大学との医療連携に伴う書類等の貴重史料ならびに書籍の数々を、大学史料室にご寄贈いただきました。

これらの資料の中で特に飯田武雄先生が使用された実習簿は、大正時代の本学の歯科医学教育を検証する上で貴重な資料です。また、昭和初期の開業医からの大学への紹介患者に対し、大学から紹介患者の診断、所見、処置の報告が記載された書簡

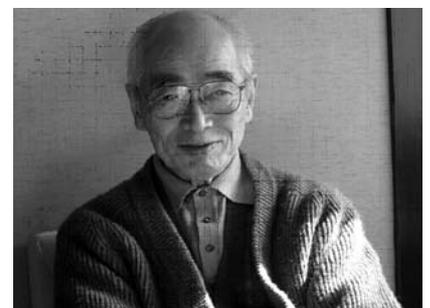
の数々は、既にこの時代に本学附属病院が二次医療機関として開業医との医療連携が構築されていたことを物語る貴重な資料といえましょう。

今回、ご寄贈いただきました資料の数々は、飯田外茂男先生がご尊父の形見として大切に保管されていた品々であり、今後、史料室において大切に保管するとともに本学の歴史を編纂して行く上で貴重な財産として有効に活用させていただきます。

なお、ご寄贈頂いた資料は、次のとおりです。

記

- ・実習簿（歯牙解剖、組織、病理解剖）
- ・卒業証書
- ・歯科医学士称号認許証
- ・歯科医師免許証



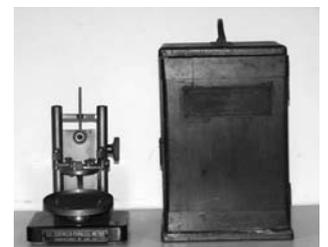
- ・健康保険医番号通知
- ・書類、書簡（紹介患者の診断、所見、処置の報告他）
- ・講義要旨 最近15年間における口腔外科学臨床の進歩とその概要（大正12～昭和13年）遠藤至六郎先生
- ・歯科機材（ポータブルエンジン、遠心鑄造機、技工用サベヤー他）
- ・その他（諸資料、書籍他、）



大村歯科医院からの紹介患者に対する本学病院から「診断、所見、処置報告書類」昭和7年8月16日付病院長花澤鼎先生、口腔外科部長遠藤至六郎先生



飯田武雄先生使用の実習簿（歯牙解剖、組織、病理解剖）



技工用サベヤー

支部のうごき

掲示板

*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp> にも掲載されています。

日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。

印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日時	演題及び講師 又は事業内容	会 場	主 催 連 絡 先	外部より 参加可否
学術講演会 平成20年 7月12日(土) 3:30~	「歯科医院における疼痛管理」 - 診断・治療が困難な痛みに対する対応 - 福田謙一准教授 (東歯大口腔健康臨床科学講座 歯科麻酔学分野)	岡山プラザホテル 岡山市浜2-3-12 TEL 086-272-1201	岡山県支部 学術担当 居樹秀明 TEL・FAX 086-264-8241	同窓会員
学術講演会 平成20年 7月13日(日) 13:00~16:30	歯周治療にとって大切なもの - リスクファクター, SRP, FOP - 中川 種昭先生 (慶応義塾大学医学部歯科口腔 外科学教室教授)	愛知県歯科医師会館101室 名古屋市中区丸の内 3-5-18 TEL 052-962-8020	愛知県支部 学術担当 常任理事 橋本雅範 TEL・FAX 052-811-3033	支部会員 同窓会員 歯科関係
学術講演会 平成20年 7月14日(月)	「歯みがきの常識と非常識」 高柳篤史先生 (埼玉県開業)	浅草歯科医師会館 東京都台東区浅草1-4-7 勉強堂ビル4F TEL 03-3841-5154	浅草支部 担当 田 昌文 TEL・FAX 03-3874-4565	支部会員 同窓会員 歯科関係
学術講演会 平成20年 7月16日(水) 午後6時30分~	コア・コンセプトと現状(臨床編・ 術式と器材) 中川寛一教授 (東歯大歯内療法学講座)	三井住友海上ビル14階 会議室 千代田区神田駿河台 3-9 TEL 03-3259-3853	千代田支部 学術担当 山本雅通 TEL 03-3252-0624	支部会員 歯科関係
学術講演会 平成20年 10月15日(水)	歯内療法学効率化と精細処置ニッ ケルチタンファイル・マイクロス コープ実習など 中川寛一教授 (東歯大歯内療法学講座)	(株)ヨシダ本社ビル会議室 (予定)	千代田支部 学術担当 山本雅通 TEL 03-3252-0624	支部会員 歯科関係
学術講演会 平成20年 10月22日(水)	クラウンブリッジの最近の話題 “メタルフリー修復, 接着ブリ ッジ……” 佐藤 亨教授 (東歯大クラウンブリッジ 補綴学講座)	東武ホテルレバント東京 東京都墨田区錦糸 1-2-2 TEL 03-5611-5511	深川支部 連絡先 学術担当 中澤 章 TEL・FAX 03-3846-4618	同窓会員
学術講演会 平成20年 11月23日(日) 午後2時~ 3時30分	「口腔機能の社会的評価・認識の 向上を求めて」 川口 充教授 (東歯大薬理学講座)	リーガロイヤルホテル 大阪府北区中之島 5-3-68 TEL 06-6448-1121	近畿地域支部連合会 大阪府支部長 西尾敏生 TEL・FAX 072-223-7588	同窓会員

空知支部

総会報告

平成20年4月12日(土)午後3時より岩見沢市北海道三井グリーンランド ホテル サンプラザに於いて空知支部総会が開催されました。当日は晴天でしたが北風が冷たく、春は名みのみの頬をさす寒い日でしたが、先生方は総会前に参集され、お互いに時候の挨拶とご健勝を喜び合いました。

幡 茂樹幹事の司会で総会が始まり、柳 清二支部長より本部同窓会出向にあたりその決意と報告を詳細に述べられ、新しい情報、特に水道橋病院と稲毛校舎の件、更に2年後の創立120周年記念事業にあたり同窓会員の支援と協力についてご理解を頂きました。又、国家試験合格率が私立大学でトップであった報告に喜んで拍手が湧きました。

柳支部長には昨年11月に厚生労働大臣表彰を受賞され、今日の総会はお祝の会となりました。長老で支部のご意見番の、江島俊昭先生からお祝品と花束を贈呈し、柳 清二先生より、「この度の表彰は私個人で頂いた表彰ではなく先生方皆様のご指導、ご協力を頂いた賜で、皆様の代表として御受けしたのですが大変嬉しく思い感謝しております。今後もしもご指導宜しくお願ひします。」とご挨拶されました。

会計報告事業報告に続いて協議事項で柳支部長が本部出向のため支部長交代を申し出て受理され、後任は昭和48年度卒業の原岡研二先生に決定し、新支部長の原岡先生より新たな力強い決意が述べられ、新原岡丸は元気よく出航されました。

学術部担当の講演は国民保険連合会審査委員の戸田康夫先生に保険請求の注意事項について、特に今回の改訂による解釈困難な文言が並ぶ文章を、懇切丁寧にご指導頂き大変有益な講習会でありました。

懇親会の席では柳支部長最後の仕事と云う事で、幹事として過去16年3代の支部長に仕え多大な情報や知識をご教授頂き、今思うと感謝の念で一杯です。支部長として会員の先生方のご協力に心より御礼申し上げ、原岡新支部長を全面的に応援しますので頑張って下さい、と挨拶されました。

アルコールが入った懇親会ではいつもの様に大先輩の時代の学風と今時の水道橋風景の昨今に驚きやら笑いやら、楽しい賑やかな語らいの溜りでありました。

二次会は岩見沢で一番のスナックでカラオケを楽しく唄い“わしは唄わない”と頑としてマイクを持たない山田 進先生も皆が唄っているう

ちに「よし、唄うぞ」と立ち上がり、切ない情のあるお声に店内のお客様も聞き惚れ、拍手喝采で何曲も唄われ感激しました。

向後、何度か支部会が開催される事を祈念いたし、新支部長より一本締めで閉会となりました。

以上報告いたします。

(幡 茂樹 記)



青森県支部

総会および学術講演会

平成20年度同窓会の定時総会および学術講演会が3月1日(土)午後3時からホテル青森に於いて開催されました。来賓として同窓会より会長の大山萬夫先生、青森県歯科医師会会長の高畑研佑先生、さらに大学より歯科放射線学教授の佐野 司先生をお迎えいたしました。総会は長内常任理事の司会で始まり、工藤支部長欠席のため松山副支部長より挨拶がありました。ご来賓の大山会長から昨年の不祥事のお詫びと反省を兼ねたご挨拶をいただきました。続いて県歯会長の高畑先生から本年

4月からの保険点数改正と、県歯の動向について、また佐野先生からは大学の近況などについてお話をいただきました。議長には住吉辰郎先生を選出し、逝去された佐藤京介先生に黙祷を捧げました。続いて各報告があり、その中で長年支部長、監事を務めた前支部長の高畑先生、前監事の佐藤甚弥先生に感謝状と記念品を贈呈いたしました。議事に入り第1号議案から第4号議案まですべて承認可決されました。本年は支部創立60周年にあたり、記念として会員名簿を作製することが決定しました。学術講演会は歯科放射線学講

座主任教授の佐野先生より「歯科臨床の画像診断」-デンタル・パノラマ・デジタルそしてコーンビームCT-と題して講演され、特に非常に高い解像度を有する歯科向けのCT装置(歯科用コーンビームCT)について実際の臨床例を挙げて分かり易くお話をいただきました。学術講演会終了後、記念撮影をおこない、顧問の清藤勇也先生の乾杯のもと懇親会を開宴しました。和気藹々とした雰囲気の中、終始和やかに時が過ぎ、最後に校歌を斉唱し終了しました。

(本田富彦 記)



山形県支部

平成20年度定時総会 ならびに学術講演会

3月29日(土)大山萬夫同窓会長、金子 讓学長をお迎えして、「平成20年度山形県支部定時総会・学術講演会」が、上山温泉「葉山館」にて開催されました。中川正晴支部長挨拶のあと、大山同窓会長、金子学長から同窓会や大学の近況も含めてご祝辞を頂きました。

その後、堺 清一議長のもと肅々と議事進行がなされ、本年度の山形

県支部の方向性を確認して閉会となりました。続いて行われた学術講演会では、「大学の現状について」という題で、金子学長より大学の現状と将来へ向けてのグランドデザインを2時間たっぷりとお話いただきました。前日の母校法人評議員会で承認されたばかりの案件も紹介されて、大変ホットな話題満載のご講演となり、参加者全員時間を忘れて聞き入っておりました。

記念撮影の後、浴衣に着替えて懇

親会場へ。ご来賓の両先生にもご参加いただき、伊藤修一先生のいつもながらの飄々とした乾杯で懇親会の幕が開きました。新入会の佐藤裕子先生の決意の入会挨拶やゲームなどもあり、和やかな雰囲気での懇親会となりました。

そして最後は、東海林 修先生のウィットに富んだ締め挨拶で笑顔の閉会となりました。参加者一同、楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。

(沼澤孝典 記)



群馬県支部

平成19年度定時総会

平成20年3月8日(土)、ホテルメトロポリタン高崎にて、来賓に大山萬夫本部同窓会会長、川越文雄群馬県歯科医師会会長をお迎えし、総会が開催されました。

総会開会后、武安一嘉会長、富澤

憲男顧問の挨拶に続き、大山会長から同窓会本部は、「和衷共同」のもと各委員会がすでに順調に活動しているとのことをご報告をいただきました。まさに、同窓会の結束力を強調されるお言葉でした。また、平成22年に本校創立120周年を迎えるにあたっ

でのテーマ「継承と発展」の記念式典の準備が総力をあげて行われていること、そして、その時のための記念グッズもご紹介いただきました。引き続き川越県歯会長より、群馬県歯科医師会の現況と茶話会から始まった県歯も数年後100周年を迎えるとのことをおはなしをいただきました。

庶務報告後、長澤 宥先生が議長

に選出され議事に入り、平成20年度事業計画案及び平成20年度予算案が無事可決承認されました。

総会終了後、同ホテルにて記念撮影と懇親会を行いました。宴は楽しい雰囲気のうちに進行し、校歌斉唱

でお開きとなりました。

(大原 正 記)



横浜西部支部

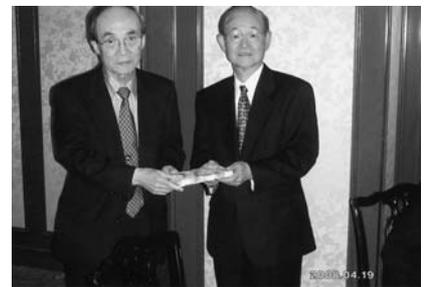
総会・懇親会

平成20年4月19日(土)、戸塚区の佐々木智則君、武居 純君、平久由佳君、小生が幹事となり、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ内「彩龍」において、総会が開催された。当日は会員29名の参加があった。来賓として、今期、新しく就任された加藤木 健神奈川県支部連合同窓会会長と、前神奈川県支部連合同窓会会長の関 泰忠本部同窓会専務理事をお迎えして行われた。

午後7時より、武居 純君の司会のもと総会が開かれた。最初に島田英明支部長より、開催の挨拶と今期の西部支部の役員の紹介がなされ

た。続いて、加藤木 健神奈川県支部連合同窓会会長より挨拶が行われた後、関 泰忠本部同窓会専務理事より挨拶が行われ、大学の報告等がなされた。その後、島田英明支部長より、平成19年度会務報告がなされ、続いて萩原 功君より会計報告がなされた後、杉山紀子神奈川県支部連合同窓会副会長より挨拶が行われ、県連合同窓会の報告がなされた。

総会終了後、佐藤卓朗君の乾杯の発声で宴に入った。今回、お祝いでは、山之内正高君の喜寿、植村 隆君の古希、菅原政道君の還暦が祝われた。宴会は、皆、楽しく盛り上が



り、日頃の仕事のストレスも忘れ(?)お酒も進み、時間が経つのも忘れていた様があった。途中、次期幹事の瀬谷区の先生の挨拶があり、宴もたけなわであったが佐藤信之副支部長の閉会の辞をもって、宴会は終了となった。最後は、皆で、記念写真を撮り解散となった。

—写真は次ページに掲載—

(中島清司 記)



滋賀県支部

平成20年度総会・学術講演会

平成20年2月3日(日)、午後3時より彦根キャッスルホテルにおいて、滋賀県支部総会及び学術講演会が開催されました。

当日は、節分にあたり、県下の一部では雪のちらつく寒い日でしたが、多数の会員が参加致しました。

総会では、北村真也副支部長の開会の辞に続き、物故会員に対し、全

員で黙祷を捧げました。その後、来賓としてお迎えした東京歯科大学千葉病院総合診療科科長角田正健教授より当県を含む関西圏における在校生の数、母校の水道橋への移転計画等、大学の近況を報告して頂きました。

続いて、曾我宏世支部長を議長として、議事に移りました。

「次期支部長および役員を選出に



ついて」という議案では、総会の場で次期支部長を承認、決定すべきであるという意見と、総会開催時期(滋賀県においては2月)からし



て、この時期に次期支部長を決定するのは、時間的に難しいという意見が対立し、なかなか結論がでませんでした。現役員において、総会開催時期も含め検討するというところで、この議案を含め、各報告、議案共、承認されました。

総会後の学術講演会では、「東京歯科大学臨床研修医制度と千葉病院総合診療科について—千葉病院口臭外来の現状—」と題して、角田教授にご講演頂きました。

講演では、平成18年4月よりス

タートした臨床研修医の制度について、東京歯科大学におけるシステムを詳しく解説して頂きました。一年の研修期間を4期（初期～3期）に分け、研修内容によりプログラムA・B・Cと3つのパターンがある事等、我々の時代にはなかった制度だけに、その内容を知る良い機会になりました。

その後、角田先生のご専門である、「口臭」について、ご講演の内容は移りましたが、時間がおしており、口臭治療の第一人者である角田

先生の講演を期待していた会員には、時間的にやや消化不良となってしまいました。しかし、そこは同窓のこと、その後の懇親会では、個人的に日頃の疑問を先生に質問し、その消化不良も解消したものと思われ

ます。最後は、滋賀県支部恒例となった、東京歯科大学予科逍遙歌「夕日は沈み」を全員で、合唱し、和気合い合いのうちにお開きとなりました。（松田康男 記）

福岡県支部

福陵会総会

平成19年度総会を来賓に同窓会本部より副会長の江崎梅太郎先生をお迎えし、3月22日(土)福岡市のホテル日航福岡で開催しました。

宇美房英副会長の開会の辞に続いて廣田 稔会長が、10月18日(土)に行われる九州地区連合会総会が今年福岡が担当となっているため、成功させるべく会員の方々の支援と協力をお願いしました。続いて来賓の江崎先生からは同窓会の最近の動向や大学の水道橋への移転構想、平成

22年に予定されている創立120周年記念事業、国家試験の状況などを交えてご挨拶をいただきました。

次いで議長に鍛冶寿一先生を選出し庶務、監査報告の後議案を審議、第2号議案では事業計画として、同窓会九地連総会を10月18日(土)午後6時よりホテルオークラ福岡で開催することを承認可決、又第5号議案の役員改選では3期9年会長を勤めた廣田 稔先生が退任、新会長に石田雅男先生（昭和44年卒）を選出しました。監事は立候補がなく会長

一任となりました。最後に新会長に就任する石田先生が会員の福陵会に対する協力をお願いして総会は閉会しました。その後懇親会は江崎先生が長崎・佐世保在住で、前九州地区理事も勤められていたこともあり和やかな雰囲気の中に時が経て、最後は83才の高石一秀先生の先導による校歌斉唱、江崎先生の一本メめで閉会、二次会場の中洲へと移動しました。

9年間に渡り福陵会会長を勤めていただいた廣田先生御苦勞様でした。新会長の石田先生宜しくお願い致します。（永江健一 記）



神が宿る島「宮島」

広島県

広島と言えば、来年に新球場が完成するプロ野球の広島カープを紹介したいところだが、古くは日本三景最近は世界遺産として世界的に有名な「宮島」を紹介したいと思う。

という訳で、今年の5月にゴールデンウィークの中の3、4、5日に広島市の平和大通りや平和公園で開催された、花と平和の祭典「フラワーフェスティバル」を横目で見ながら（今年は3日間で166万人の出入）1年ぶりに宮島を訪れた。

宮島には、1922年にはアインシュタイン、1948年にはヘレンケラーといった著名な方も来島されている。

宮島は、江戸時代の初め（1643年）に全国を行脚した儒学者、林春斎が「日本国事跡考」において、松島と天橋立と共に卓越した景観（日本三景）の一つとして紹介した。

また、厳島神社が平成8年12月に世界遺産として登録された。

この島は遠い昔から神の島だった。厳島神社社殿は593年佐伯鞍職によるご創建と言われる。806年には、空海が遣唐使からの帰途に、靈気を感じて弥山みせんを開基した。

1168年に平清盛が、平安時代の寝

殿造りの影響を受けた建築である現在の厳島神社の姿に造営した。

厳島神社は、弥山を中心に深々とした緑に覆われた山容を背景として、満潮時には、朱塗りの社殿が海に浮かんでる様である。干潮時には、大鳥居まで干潟が現れ、そこまで歩いて渡れる。

この大鳥居は、奈良の大仏とほぼ同じ高さの16.8m 重量は約60t 主柱は樹齢500～600年のクスノキの自然木で作られ、8代目にあたる現在の鳥居を建立するにあたっては、20年の歳月を要したと言う。

また、根元は海底に埋められてるわけではなく、松材の杭を打って地盤を強化し、箱型の鳥木の中に石を詰めて加重するなど、鳥居の重さだけで立っている。

2月には宮島かき祭り、3月は清盛まつり、6月は管絃祭、8月は宮島水中花火大会、玉取祭などがある。

秋には紅葉谷公園の紅葉がきれい



世界遺産の石碑



日本三景の石碑

である。他に弥山に登るロープウェイや宮島旅館などもある。

一年を通じていろいろな顔を見せてくれる宮島に一度、遊びに来られては如何でしょうか。

(昭和58年卒 福島一則 記)



干潮時の大鳥居



干潮時の厳島神社

クラス会だより

クラス会開催日程

いとし会（昭和24年卒）	とき	平成20年11月15日（土）
	ところ	東京銀座・南蛮1934（予定）
久喜会（昭和36年卒）	とき	平成20年11月2日（日）午後4時～
	ところ	水道橋・東京ドームホテル42F ペガサス
十二期会（昭和39年卒）	とき	平成20年8月2日（土）～6日（水）
	ところ	函館・青森大会
富已会（昭和40年卒）	とき	平成20年10月12日（日）午後5時
	ところ	新宿京王プラザホテル
踏志会（昭和41年卒）	とき	平成20年11月1日（土）・2日（日）
	ところ	広島県および愛媛県
第七十九期会（昭和49年卒）	とき	平成20年7月20・21日
	ところ	静岡県伊豆方面
八実会（昭和53年卒）	とき	平成20年10月12日（日）
	ところ	福岡市
新葉会（昭和63年卒）	とき	平成20年9月20日（土）午後5時30分～
	ところ	水道橋・東京ドームホテル42F シリウス

五十二期会

昭和22年卒

卒後六十周年記念誌発行

昨年5月14日天候に恵まれ、60年目の級総会に級友34名、同伴22名の計56人が出席、総会のあと水道橋病院見学から東京ドームホテルでの懇親会にと無事盛会に終えたこと、そして長い間会の準備、進行に当られた幹事諸兄のご協力に改めて感謝で一杯です。

3月末、一年目を迎えることもなく、とにかく間に合ったとやっとの思いで記念誌をお届けすることができました。後、ただ一通の返戻分も無事送り届けることができ、完全に

終了しました。皆さん手にして如何でしたか。

記念誌の基本冊や記念写真、名簿のまとめに苦勞された長安君、編集に散々の手間をおかけした根本君、矢島君又ひたすら声援を続けた山本一成君等のお蔭で60余頁。級会の経緯、近況報告、終戦前後を過した特異な時代の学生生活をふり返る根本君の回想記に。大村兄の絵を添えた名簿付の記録誌となりました。

これまでの級の記録・会計は三輪君の手で詳細に残されており、60年の総まとめとしてもっと沢山の多角的

な記事、写真等取りこめたらよかったかとも思いますが、どうぞ記念誌の一言一句お読みとりいただければと願っております。

その昔、久保田大兄等の発声で小倉君と2人永久幹事担当を仰せつかり、以来2人3脚で懸命に続けてきましたが、ひとまづこれで一応の責務は果たしたことかと内心安堵の思いをしております。

これから又山坂続きの大変な後々期高齢者の毎日です。52期の皆様お達者でお越し下さい。

（酒匂睦夫 記）

一期会

昭和28年卒

平成20年度の「一期会賞」授賞式は、4月10日大学院入学式終了後、千葉校舎第一会議室で、川口大学院教務部長（薬理学）の開式の辞で始まり、一戸大学院学生部長（歯科麻酔学）より、

「一期会賞」は、東京歯科大学専門学校から東京歯科大学に昇格し、その第1回の卒業生である「一期会」の先生方のご芳志により平成10年度に設けられました。大学院歯学研究科に入学する者で、学業・人物が優秀であり、学術研究の研鑽に励

み、その奥義を究め歯科医学・医療の向上と母校の発展に寄与する人材を育成すると共に、後輩の勉学意欲の向上に役立つことを目的として、大学院入学試験の成績優秀者1名に褒賞盾と金一封が贈られます。

との説明がありました。次いで受賞者の氏名が柳澤大学院研究科長（口腔超微構造学）より発表され「松岡海地」君（平成19年3月卒）が受賞の榮に輝きました。式は肅然とした雰囲気のうちを終了しました。

現会員の中で最高齢の相良 宰君

（大分県）が平成19年11月29日85才で長逝されました。慶弔内規に則り弔意を表しました。平成5年9月椿山荘で開催した卒業40周年記念総会に出席されたのが最後でした。心から哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。（西山 巖 記）



一口メモ



新水道橋校舎

左の絵は「名所江戸百景」という安藤広重の連作浮世絵のひとつ「水道橋駿河台」です。このシリーズは安政3～5（1856～58）年の頃刊行されました。「名所江戸百景」はヨーロッパ近代の「ジャポニズム」と呼ばれる日本趣味の流行の源であり、画家のモネやゴッホらに影響を与えています。

またこの連作は画面構成が独創的なことで有名です。大きな鯉のほりは今にも天に昇りそうな勢いです。その後ろには、富士山、そして神田川の流れに水道橋が架かっています。川沿いには現在電車が走る土手（水道橋駅）があります。東京歯科大学の校舎はこれから40年余りの後に、この橋のたもとあたりにできることとなります。

この絵から150年余り後 この視点の位置にもまた新たな水道橋校舎が出来ようとしています。

東京歯科大学が水道橋に移転し、天に昇り龍となるような勢いを持つことを願います。

誌面構成上、多少スペースに空白が生じることがあります。コラムとして、トピックス等用意することにしました。会員からの投稿も歓迎致します。

オールウエズ スタンド バイ ミー 志学会 (昭和42年卒)



荒川 明君が鬼籍に入った、本年3月10日のことである、アラカワといえは同期は言うに及ばず、全校を通じて最高のアスリートとして名前が通っていた。それだけに一層深く諸行無常を感じる。

私と彼も同期の6名がサッカー部に入った。サッカーが近代化される前のまだ根性の時代である。彼は入学間もなく大歯大との定期戦で両軍

の度肝をぬく活躍をし、それまでの連敗を止めた。相手は畏れて、それ以後知る限りにおいて我がチームに勝つことはなかった。卒直後に同期の11人でスタデグループを作った。酔っ払って全日本歯科医学学会と名づけ略して全歯学、それを善志我会与漢字に置き換えたのが彼であったが、何処かで宗教団体と間違われ苦笑していた。月に一・二度の割合で会った。この47年間は歯科が科学になっていく時代をともしたとも言える。話し合ったわけではないが卒後十数年が過ぎるとグルー

プの全員が歯学博士になっていた。今年の新年会でポツンと今まで一番楽しかった事を彼が話し始めた、こんな事になるのなら一晩中でも盛り上がり上げておけば良かった、残念と言うしかない。大きくなったら相撲部屋の女将になるなどと言っていたお嬢さん達も普通に結婚した。奥様は通夜の席でも“我が儘でいつも自分勝手”なのだともまだそこに立っている様な口調で責めた。肉体は遠くにあっても魂は、オールウエズ スタンド バイ アスである。

(黒田百樹 記)

庶 務 日 誌

- | | |
|---|---|
| <p>5月</p> <p>1) 理事会
5月10日(土) 第3回理事会</p> <p>2) 委員会
5月7日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
9日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
12日(月) 広報部委員会 (会報編集)
13日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
14日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
19日(月) 広報部, 情報部連絡会
21日(水) 厚生部委員会
23日(金) 学術部委員会 (プログラム委員会)
26日(月) 学術部委員会 (企画会議)
27日(火) 情報部委員会
28日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
29日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
29日(木) 厚生部委員会ゴルフ大会委員会</p> <p>3) 出張
5月10日(土) 四国地域支部連合会総会 (徳島県支部担当) 江崎副会長, 久保田理事出席
学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)
31日(土) 福島県支部総会 大山会長出席
学術講演会 講師・井出吉信教授(母校)
31日(土) 富山県支部学術講演会 講師・奥田克爾名誉教授 (母校)</p> <p>4) 事業
5月25日(日) 卒後研修セミナー [実技セミナー (No.2 見直そう口腔外科疾患の診断と基本手技)]</p> | <p>6月</p> <p>1) 理事会
6月11日(水) 第3回常任理事会</p> <p>2) 委員会
6月2日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
2日(月) 保険部委員会
9日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
10日(火) 広報部委員会 (会報企画)
13日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
13日(金) 渉外部委員会
17日(火) 学術部委員会 (運営委員会)
18日(水) 学術部委員会 (将来像検討委員会)
20日(金) 学術部委員会 (運営委員会)
23日(日) 学術部委員会 (企画会議)
24日(火) 情報部委員会</p> <p>3) 出張
6月14日(土) 川崎支部学術講演会 講師・櫻井 薫教授 (母校)
21日(土) 東北地域支部連合会総会 (秋田県支部担当) 大山会長, 柳副会長, 岩沼理事出席
学術講演会 講師・山根源之教授(母校)
21日(土) 信越地域支部連合会総会 (新潟県支部担当) 片倉副会長, 関専務理事, 片桐理事出席
学術講演会 講師・花岡洋一准教授(母校)
21日(土) 九州地域支部連合会支部長会 江崎副会長, 濱田理事出席</p> <p>4) 事業
6月21日(土) 卒後研修セミナー [実技セミナー (No.3 実践 MTM ステップアップコース)]
22日(日) 卒後研修セミナー [実技セミナー (No.3 実践 MTM ステップアップコース)]</p> |
|---|---|

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 10 卒	藤井正毅 (95歳)	20. 4. 1
広島県支部	〒732-0063 広島市東区牛田東3-14-1	
●昭 16.12 卒	田中博治 (88歳)	20. 4.14
山口県支部	〒746-0038 周南市福川1-10-10	
●昭 54 卒	大平秀明 (54歳)	20. 4.10
板橋支部	〒114-0021 北区岸町1-7-28	
●昭 22 卒	神山二郎 (85歳)	20. 4. 5
杉並支部	〒166-0003 杉並区高円寺南2-32-21	
●昭 45 卒	中川孝男 (63歳)	20. 4.17
山梨県支部	〒405-0073 笛吹市一宮町末木747-1	
●昭 19.9 卒	河村秀雄 (84歳)	20. 3.29
千葉県支部	〒270-1145 我孫子市高野山97-46	
●昭 57 卒	矢崎欽也 (53歳)	20. 4.19
八南支部	〒193-0931 八王子市台町4-45-6	
●昭 15 卒	大橋鉄男 (91歳)	20. 4. 5
北支部	〒173-0002 板橋区稲荷台5-8	
●昭 18.9 卒	鈴木基一 (85歳)	19.11.
栃木県支部	〒329-2727 那須塩原市永田町11-3	
●昭 43 卒	藤田純一 (65歳)	20. 5. 6
芝支部	〒135-0004 江東区森下5-19-18-503	
●推薦会員	武田俊信 (99歳)	20. 5. 2
札幌支部	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条5-3-5	
●昭 31 卒	鎌田守雄 (76歳)	20. 5. 8
芝支部	〒108-0074 港区高輪2-14-7-805	
●昭 11 卒	川越久雄 (95歳)	20. 5. 7
兵庫県支部	〒658-0072 神戸市東灘区岡本7-5-23	
●昭 11 卒	高田尚文 (93歳)	20. 4.28
富山県支部	〒939-8054 富山市新堀町87-21	
●昭 8 卒	向山英三 (99歳)	20. 5.15
函館支部	〒041-0843 函館市花園町20-7	
●昭 16.12 卒	矢島一美 (87歳)	20. 5.17
中信支部	〒390-0874 松本市大手4-11-13	
●昭 18.9 卒	杉原弘三 (87歳)	20. 5.17
横浜北部支部	〒221-0065 横浜市神奈川区白楽15-1	
●昭 29 卒	原崎雅志 (77歳)	20. 5.22
静岡県支部	〒425-0022 焼津市本町5-6-9	
●昭 23 卒	浅井政晶 (81歳)	20. 5.23
静岡県支部	〒411-0855 三島市本町2-9	
●昭 15 卒	山田力 (92歳)	20. 5.21
愛知県支部	〒453-0833 名古屋市市中村区押木田町2-8-1	
●昭 19.9 卒	前田安胤 (84歳)	20. 3.29
神奈川湘南支部	〒242-0002 大和市つきみ野6-9-35	
●昭 30 卒	宮島靖 (76歳)	20. 5.27
岡山県支部	〒717-0024 真庭市月田6856	
●昭 13 卒	丸山孝 (91歳)	20. 5.23
大分県支部	〒876-0844 佐伯市向島1-11-31	
●昭 20.9 卒	岡義治 (85歳)	20. 5. 1
神奈川湘南支部	〒251-0038 藤沢市鵜沼松が岡2-5-21	

◆投稿規定

- (1) 原稿締切り
原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。
- (2) 投稿様式
投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。
- (3) 投稿字数
 - ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
 - ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文
のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。
 - ③ 「追悼」は、500字程度
- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。
なお、掲載については委員会にご一任いただきます。
- (5) 写真等の返却
写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

◆へんしゅうこうき

- ★ ミャンマーのサイクロン災害、四川大地震などアジアにおいて未曾有の大災害が発生し、20万人に迫る人命が失われました。罹災者の救援も遅々として進まず、さらに被害が拡大しているようです。ミャンマーの軍事独裁政権は、国連を中心とする国際支援の申し出を受けず、現在も支援の手の届かない地域があるとのことです。四川大地震では小中学校の校舎の崩壊が目立ち、“おから工事”と呼ばれる手抜き工事による生徒の犠牲者が数千人に上るというニュースには特に心が痛みます。為政者の真の価値が問われています。
- ★ 震災といえば、平成7年1月17日未明に発生した阪神淡路大震災を思い出します。当時の現場に歯科医療支援に入られた先生のお話では、歯科医療も当初の救命医療が落ち着いてくるとニーズが高まってきますが、やはり診療椅子が不足していて苦労したとのこと。あれから13年がたち、対応がどの程度進んでいるのか改めて考える機会と言えるのではないのでしょうか。
- ★ 今号では、井上理事長と金子学長が創立120周年記念事業について寄稿していただきました。地価の高い水道橋近辺に学校用地を確保するのは非常に困難と思われませんが、昭和一高学園との共同開発などの大胆な計画もあり、さらにすばらしいプランも練られているでしょう。「本学建学の地である水道橋への回帰を創立120周年記念の一大事業として実施する」との井上理事長のお言葉は、私事ながら旧校舎で最後の卒業生としては(若い先生には申し訳ありませんが)誠にうれしいものでした。
- ★ 本邦最古の110余年の歴史を持つ本学として、新たな発展の礎を構築する本事業は、同窓すべての希望となるべきものと言えるでしょう。これからも具体的な事業について本誌でも掲載していく予定です。ご注目ください。

(小池 修 記)

広報部委員会

委員長 小林 伯男
委員 内山 健志
林 量一
東郷 幹夫
白田 準
小池 修
尾崎 圭子
福井 雅之

広報部担当理事 三友 和夫

平成20年6月20日 印刷
平成20年6月25日 発行
東京歯科大学同窓会会報 第364号
同窓会ホームページアドレス
<http://www.tdc-alumni.jp>
発行人 三 友 和 夫
編集人 小 林 伯 男
東京歯科大学同窓会
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18
電話 (03) 5275-1761
FAX (03) 3264-4859
印刷所 一世印刷株式会社
〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
電話 (03) 3952-5651 (代)